

(21) 「○花市鹿毛
」

184×43×8 011

木簡研究第一九号

山中 章

(22) 「一「一」一〇

○花鞍」

(23) 「一「一」一〇

○花鞍」

(24) 「○出勤」

・「○出勤」

58×34×9 011

48×25×6 011

(25) 「□水

前」(横材)

72×141×7 011

(6)(7)は荷札。(8)(9)は名札。(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)は馬の登録名札である。
なお、木簡の収蔵にあたっては、文献資料調査担当(当時)の船橋明宏・宍戸知・田中桂名氏の教示を得た。

9 関係文献

東京都埋蔵文化財センター『汐留遺跡Ⅲ』(1999年)

同『汐留遺跡Ⅳ』(2000年)

(石崎俊哉)

- 一九七七年以前出土の木簡(一九)
平城京跡右京一条二坊一坪 本薬師寺跡
秋田城跡(第一・八・一二号) 中屋サワ遺跡(第一五号)
大宝令施行直後の衛門府木簡群
—藤原京跡左京七条二坊出土木簡の基礎的考察—
九州特別研究集会の記録
西海道の古代出土文字資料
大宰府史跡出土木簡
鴻臚館跡出土の木簡・年代・トイレ
元岡・桑原遺跡の概要と出土木簡
中原遺跡出土木簡とその周辺

頒価 500円 送料60円
柴田博子
大庭康時・松川博一
酒井芳司
菅波正人
田中史生